

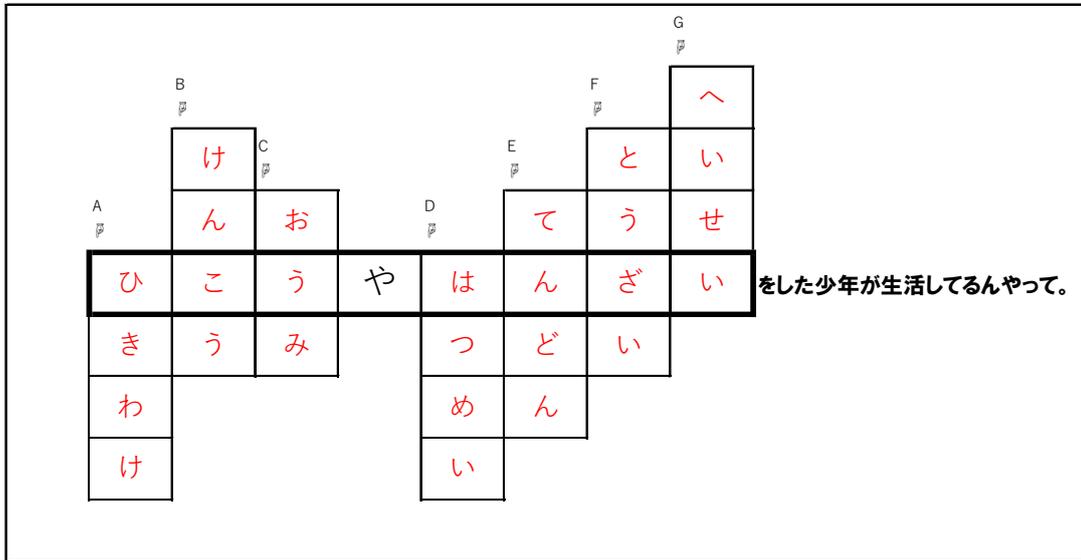
「近所にあるあの高い塀に囲まれた建物って何か知ってるか。」

いつものように突然の質問だった。また母がどこからか噂話を聞いてきたらしい。確かに私の家の近くには白い塀に囲まれた施設がある。気づいた時にはその建物は既にある私としては近所にある建物の一つという認識で疑問を持つことすらなかった。

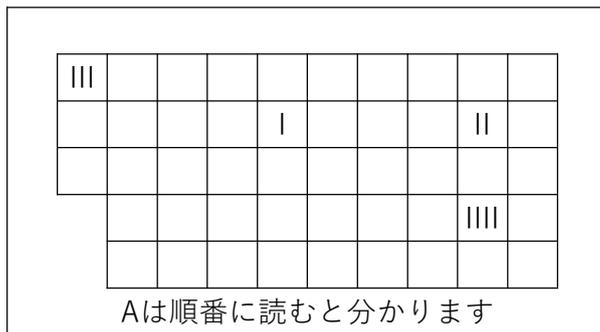
「まあ、これでも解いてみ。」

そうって母は一枚の紙きれを渡してきた。謎を作って人に解かせることが好きな母は、また噂で聞いてきた近所の施設をネタに謎を出してきた。

あなた知ってるか
あの塀の中には



をした少年が生活してるんやって。



←小学1年生で学ぶ五十音表にI~IIIまで順に当てはめると「ひきわけ」となる

「電卓」を過去にすると「そろばん」
「滋賀県」を過去にすると「近江国」

「し」が「けん」に変換。
「ゴム」は消し。
「は」は抜く。
すると「けんこう」となる

次のルールにそって、「」をよめ。

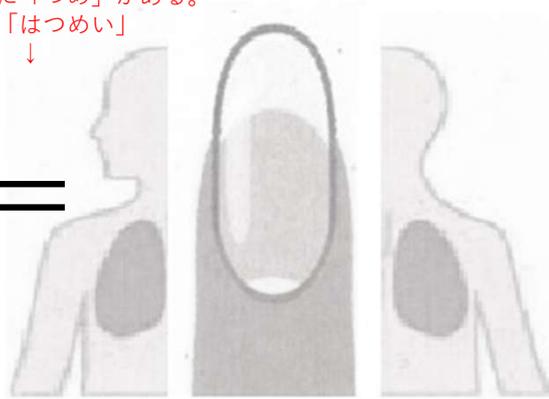
ルール

滋賀県	消しゴム	歯抜け
-----	------	-----

B=「ハシゴはむこう」

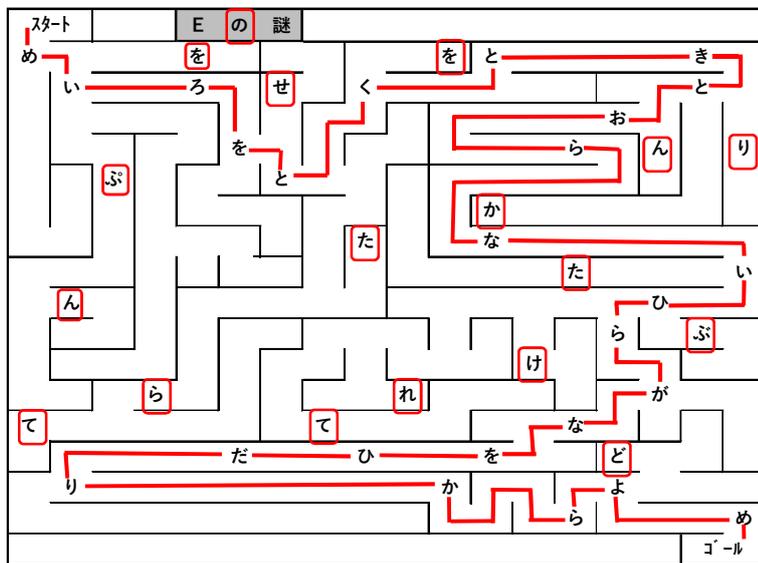
「はい」の間に「つめ」がある。
よって「はつめい」

D =



蟹は「か2」，足は「あ4」
よって蟹足は「東西」

	1	2	3	4	5
あ	金	海	祝	西	火
い	南	文	工	秒	川
う	日	時	水	北	重
え	軽	生	字	虹	土
お	谷	年	月	分	知
か	木	東	身	光	色
F = 蟹 足					



め	〇	〇	=	45	
た	〇	〇	〇	=	15
し	〇	〇	〇	=	64
G				=	31

↑
上から
「明治」「大正」「昭和」「平成」

迷路を解くと次の文字が浮かびあがる。

「めいろをとくときとおらないひらがなをひだりからよめ」となり、
「てんぶらをのせてたれをかけたどんぶり」となる。

噂話と謎作りに生きがいを感じている母は、以前からこうやって謎を出す。

謎自体は面白いんだ。けど、母はどうも突っ走っていて・・・

まあ、母の謎は話半分に聞いておかなきゃね。

・・・でも、確かに近所にあるあの高い塀の施設は果たして何なんだろう。

母が作った謎の影響か私は、高い塀の施設に興味を湧いたので、
実際に行ってみることにした。

どうやらあの建物は【少年鑑別所】というらしい。



建物の前に貼られていたポスターによると、ちょうど翌日が施設参観というものを行っているらしい。すっかり興味を持った私は、翌日改めて少年鑑別所を訪ねたのだった。

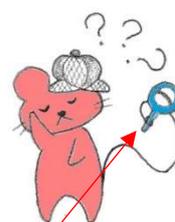
職員：「こんにちは。施設参観によろこんでくださいました。」

私は、恥ずかしながらも母の作った謎解きを見せ、少年鑑別所とはどのような施設なのかを尋ねてみた。すると、職員さんの反応は意外なものだった。

職員：「お母さまが作成された謎解きのとおりです。」

私：「え。謎解きの答えどおりだとしたら、ここでは一体何をしているんですか。」

職員：「んー。そうだ。せっかくですので、私たちもお母さまと同じく少年鑑別所がどのような施設なのか謎解きにしてみましたので解いてみてもらえますか。スマートフォン等を使ってQRコードを読み取り、少年鑑別所について謎を解き明かしてみてください。」



少年鑑別所では、

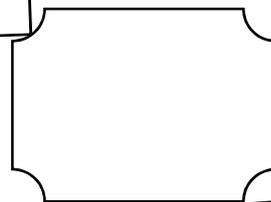


この冊子にある



↑
この冊子にある虫眼鏡の色は、水色

憲法



子ども

↑
「憲法（記念日）」と「子ども（の日）」
この間にあるのは、みどり（の日）

少年立今は年2回少年鑑別所検も
 別なち後8所鍋立鳥原の京都方面
 しど更生をおどちMのりした査定
 るし西のを正う直コをし度・を2
 いsて南水マ裁るN明一観行企や
 クて山覚Wをす7措置見至ま貸し
 て救る方い、勾た2らこ番目るの
 のい岡の3冊留くがか子読滋通心
 の口れまし欠れよ虹にけっうし理
 た間る針白色まめもまの通Cせ相
 上まんゃかを手にか作順たに感宅
 にす花をあ読ば製つしめ相Tて作

↑
 前ページの問題を通して、「水色」と「緑色」を右上から縦に読むと
 『面接や心理検査を通して非行に至った原因を明らかにし少年が立ち直るために
 どうすればよいか今後の方針を立てるなどしています』 となる。

♡どうしても解けない場合は袋とじの中はヒントを用意しています♡

少年鑑別所でどのようなことをしているか
 謎が解けたら袋とじの中へ

私：「解けました。母の謎解きのとおりと聞いて、勝手に近所に怖いところがあるのかなと思っただけど、そうじゃないんですね。」

職員：「謎の答えは、“鑑別”という業務になります。少年が非行をしてしまうまでには、本人の特性や育ってきた環境など様々な原因があるんです。鑑別を通じて、その原因を明らかにして、どうすれば少年が立ち直ることができるのかを考えているんです。その他に“観護処遇”といって、規則正しい生活や学習、運動等を通じて、健全な社会での生活に役立つよう助言などもしているんですよ。」

私：「想像していたのとだいぶ違っていました。ここに来た少年のために色んなことに取り組んでいるんですね。」

職員：「ここに来た少年のためにももちろんですが、他にもこんなことにも取り組んでいるんですよ。」

そうやって職員は、1枚の案内とパンフレットを差し出した。

法務少年支援センターは
地域の非行・犯罪の防止と
青少年の健全育成に
取り組んでいます



職員：「少年鑑別所では、心理学の専門家である“心理技官”と助言・指導や所内生活全般の支援といった観護処遇を担当する“法務教官”がチームとなって、少年非行や犯罪に関する問題に長年携わってきました。これらの知識や経験、ノウハウを生かして、少年鑑別所に入所した少年のみならず、地域の一員として、地域社会の非行・犯罪の防止と青少年の健全育成に役立つべく、法務少年支援センターとしても活動しています。詳しくはこのマークのあるパンフレットをご覧くださいね。」

私：「心理相談や心理検査、講演など色々なことをしているんですね。お願いするのにどのくらいお金がかかるんですか？」

職員：「心理検査の用紙代などの実費をいただくことはありますが、国の機関、国の職員が行っていますので、原則無料でやっているんですよ。」

私：「近くに住んでいるのに、こんなところがあるなんて全く知りませんでした。」

母の謎解きだけでは、結局よく分からず、今日来てなければ近所にあるよく分からない塀に囲まれた建物のままだったけど、実際の雰囲気を知ることができて今までより身近に感じる事ができた私だった。

🔑 4 めざげてなきがらともめい

職員：「さて、そろそろ終わりの時間となりました。お母さまが作成された謎をきっかけに来ていただきましたが、今日はお母さまがおられないということでお土産を用意しました。お土産は**最後の謎**です。この謎は私どもからのメッセージとなっています。ぜひお解きください。」

- ①「4」と「6」の間は「5」のように間の文字を出す。 →  4 めざげてなきがらともめい
②表紙の注意書きにある「悩んだら頭を使いましょう」を使う。  5 もじごとにくぎりなやもう
③5文字に区切れ、「頭を使える」ものとして前の問題を使う。  6 やずざなぬけぐるにゆやえ



二本の虹の鍵を使い，間の紫を開けよ

私：「母のためにわざわざありがとうございます。帰ってから母と挑戦してみようと思います。」

あれから2週間。冊子を無くした私と母はまだ最後の謎は解けていない。

あなたは解くことができますか。

ここまでの謎を解くヒント

最初の謎

- A：右上から縦に「あいうえお」
- B：たぬき言葉は「た」を抜きます。
- C：計算機である「電卓」は、昔「そろばん」でした。
- D：肺の間に爪があります。
- E：迷路をクリアして順に読んでみましょう。
- F：牛は北になり、鬼は年になります。
- G：4 5 → 1 5 → 6 4 → 3 1 →次はまだわかりません。

 答えはこちら



2つ目の謎

- 左：この冊子のどこかに絵があります。
- 右：カレンダーをよくみてみましょう。

最後の謎

間の紫を開けたらこの冊子内の区切れるほど大量の文字があるところで悩んだ後に「少年鑑別所のしおり」を使います。

少年立今は年2回少年鑑別所検も
 別なち後8所鍋立鳥原の京都方面
 しど更生をおどちMのいした査定
 るしQオルペ卵め年T-栗4布団
 ジくA北よにる年A因あ力非計接
 るし西のを正う直コをし度・を2
 いsて南水マ裁るN明一観行企や
 クて山覚Wをす7措置見至ま貸し
 て救る方い、勾た2らこ番目るの
 のい岡の3冊留くがか子読滋通心
 の口れまし欠れよ虹にけっうし理
 た間る針白色まめもまの通Cせ相
 上まんゃかを手にか作順たに感宅
 にす花をあ読ば製7しめ相Tて作

↑
 赤い文字の上の文字を順によむと最後の謎の答えがでてくる。
 「少年の更生のために力を貸してくれませんか」となる。

♡どうしても解けない場合は袋とじの中にヒントを用意しています♡

キ

リ

ト

リ